

超高反発ドライバーで 220ヤードを“楽”に 打っていきましょう。

地クラブと呼ばれる優れたパーツブランドの認知度アップを目指すスカイAの人気番組が「ゴルフギアクエスト」だ。そこに紹介される数々のクラブの中からピックアップするのが神戸発チームヨシムラの限定超高反発ドライバーだ。



ゴルフギアクエスト
限定ドライバー
TL460 DRIVER

- ヘッド素材/ボディ:6-4チタン、フェース:22V-4Aβチタン
- 体積/460cc
- ロフト角/12度
- 推奨シャフト/FIBER TECH M-45 (R2, R, SR / 45.5インチ)
- 総重量/278g (R)
- 税別価格/89000円

反発係数0.89以上の飛びで200ヤード超の飛びが蘇る

こだわりはとにかく飛距離性能。ルールを度外視した反発係数は0.89以上、CT値は400(ルール適合反発係数0.830以内、CT値257以内)と破格のポテンシャルを誇るのがチームヨシムラ「TL460ドライバー」である。この恩恵を最も受けるのはヘッドスピード40m/s以下のシニア世代、レディスゴルファー。スピードイーに振れ切れなくなった飛距離の低下を、クラブがフルにカバーしてくれるのである。

飛びの追求はさらに他には見られないこだわりで現れている。200~800nm(ナノ)の超極薄被膜をヘッドとシャフトにコーティングして空気抵抗を軽減させて、振り抜きに寄与させているのだ。

「ゴルフギアクエスト」で試打を担当するクラブコーディネーターの鹿又芳典さんは「弾くのにフェースに乗る感じがある。ロフト12度でしっかりと打ち出し角もキープされてキャリーが出せ、ロースピンの弾道だから効率よく飛距離が稼げる。ヘッドスピード40m/sでテストした結果、240ヤードを楽に超えた。ヘッドスピードの6倍以上の飛距離が出るのは、かなりのぶっ飛びクラブだと言えます」と評価する。

「TL460ドライバー」はヘッドスピード42m/s以上のゴルファーには残念ながら破損の恐れがあるとのこと。それだけフェースを極限まで薄くして、高反発化にこだわり、そしてターゲットを40m/s以下と見据えた、潔いぶっ飛びドライバーなのだ。